

平成29年度 自己点検・自己評価結果概要

1. 自己点検・自己評価の取り組み

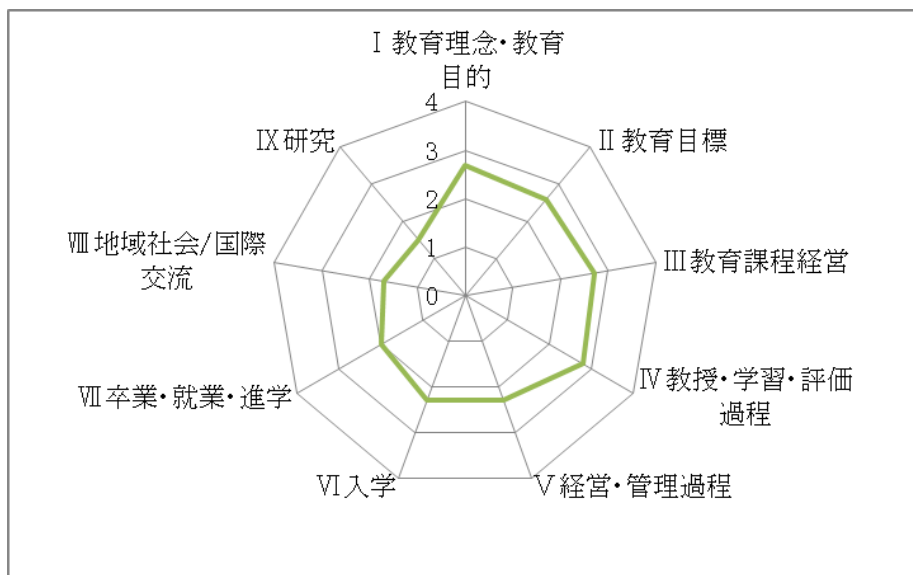
本校は、教育研究の高度化及び活性化を図るため、教育研究状況について自己点検・自己評価を行いました。平成29年度の点検評価について結果及び今後の課題を公表します。

2. 方法

「看護師等養成所の教育活動などに関する自己評価指針作成検討会」報告書を活用し、9分野のカテゴリ一、67項目について、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切を尺度とし、看護学科・助産学科の教員が自己評価を行い、2学科の平均点を算出して考察しています。

3. 結果

<分野別平均点>



カテゴリ	分析・課題
I 教育理念・教育目的 2.7点	教育理念・教育目的は学生便覧・履修の手引きに示し、入学時オリエンテーションで説明しているが、その後の学修の指針に至っていないため、具体的に明示していく。 また、教育理念に自校の特徴を示す内容が不足しているため、自校の特徴を明文化し、教育理念に反映させる。
II 教育目標 2.6点	教育目標は教育内容を網羅し、卒業時の到達目標として設定しているが、具体的で実現可能な目標に至っていない。 また、卒業後の継続教育の考え方を教育目標に設定しているとは言えない。学修成果として具体的な目標設定を検討していく。
III 教育課程経営 2.7点	科目と単元の構成、単位履修の方法は履修の手引きで示し学生の単位修得の支援となっている。 教員の自己研鑽のための研修は積極的に勧めている。各個人で研修会・学会参加希望を出し、全体研修も年1回実施している。しかし、教員同士が学び合う環境としての体制づくりに課題があり今後検討していく。 年度末にカリキュラム評価を行い、よりよい教育となるよう検討して

		いるが教育方法・教育評価については今後も検討していく。
IV 教授・学習・評価過程 2. 8点		<p>教育内容のまとまりの考え方や科目目標・学習内容・評価については履修の手引きに示している。教務会議にて授業内容の重複や整合性を検討しているが十分とは言えないため、マトリクスを活用し教育内容の整理を行う。</p> <p>授業形態は授業内容に応じて変えるなど教員個々で工夫している。また、学生からの授業評価を平成17年度より実施しており、講義の質向上に取り組んでいる。しかし、評価結果に基づいて実際に授業を改善しているかの確認が不足している。評価計画を取り入れる等検討していく。</p>
V 経営・管理過程 2. 3点		<p>運営会議・全体会議・教務会議を適宜行い、教職員への伝達・共有・検討を重ねている。しかし、管理職の考え方や経営方針が教職員間で十分共有しているとはいえない。教職員も経営的な視点を持ってより能動的な実践ができるよう意思決定システムや権限を明確にし、教職員の意思を反映できるような組織作りに努めたい。さらに、長・中期目標が不明確なため明文化していく。</p>
VI 入学 2. 3点		<p>入学生確保として学校訪問、広報活動を実施し、定員維持は達成している。しかし、教職員全員で入学者受け入れ方針を決定し、入学者選抜方法を変更したため、その妥当性を検討し、入学者選抜の考え方をホームページ等に明記していく。</p>
VII 卒業・就業・進学 2点		<p>卒業生の到達状況は、教育理念・教育目的との整合性を考えて適宜点検している。卒業後の動向の把握や就職先との情報交換が不十分である。卒業生の活動状況の把握とその体制づくりを検討する。</p>
VIII 地域社会/国際交流 1. 7点		<p>選択科目にボランティア論を設定し、学生は積極的に受講している。ボランティア活動への参加も呼びかけ、複数の学生はボランティア活動をしている。地域社会と学校の交流はあまりなく、地域社会のニーズ把握に至っていない。</p>
IX 研究 1. 5点		<p>他校からの研究協力は多くの教員が協力しているが、自身の研究活動は十分とはいえず、時間的・財政的保障を今後整えていくことが必要である。教員全体が研究の意義を再認識し、研究活動に意欲が持てるよう、サポート体制を検討する。</p>

本校では、平成17年より授業評価を行っています。

授業評価は、実施した授業について学生にアンケートを行い、授業内容の改善など質的向上に活かしています。

質問項目は13項目（詳細は下記参照）、質問項目に対し「とてもそう思う」を4、「そう思う」を3、「どちらともいえない」を2、「そう思わない」を1、とし4段階の評定尺度で得点化して評価をしました。

〔質問項目〕

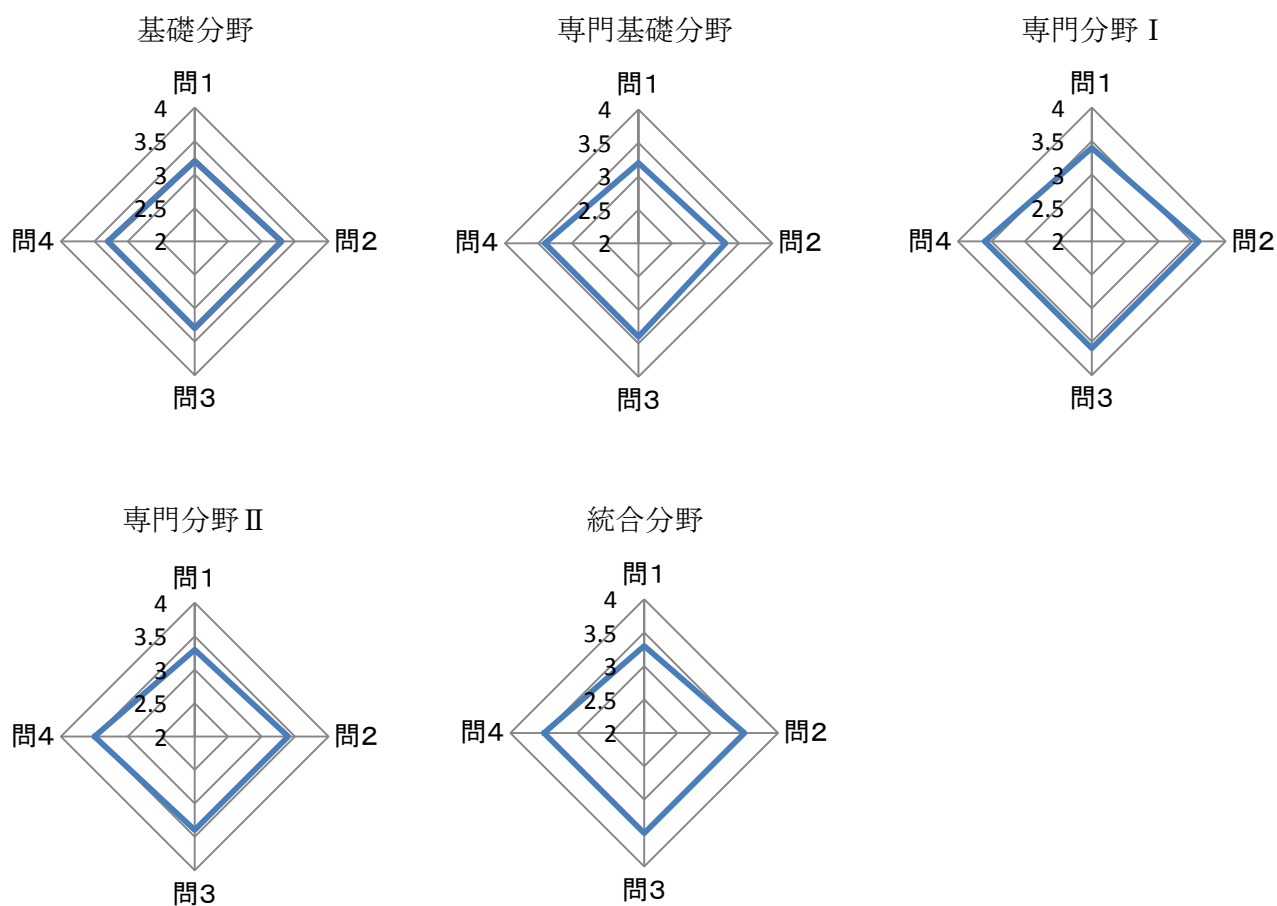
- 1 あなた自身の授業への取り組みについて
 - Q1 この授業には興味を持っていた
 - Q2 この授業には積極的に参加した
 - Q3 この授業には集中した
- 2 教員の授業の進め方について
 - Q4 この授業は、時間・内容の配分が良く、授業の構成がよかった
 - Q5 教員の説明は、具体的でわかりやすかった
 - Q6 教員の声は聞き取りやすかった
 - Q7 教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めていた
 - Q8 教員は、学生が質問しやすい雰囲気、答えも丁寧であった
 - Q9 使用した教材教具は、授業の理解に役立った
- 3 授業内容は理解できた
 - Q10 授業内容は理解できた
 - Q11 この授業で新しい知識を得ることができた
 - Q12 この授業は興味・関心が深まる内容だった
- 4 総合評価
 - Q13 全体としてこの授業を受けてよかった

下記のグラフは、平成29年度に学生が授業に対し評価したものです。看護学科は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野ごとに平均値をグラフ化したものです。通信制看護学科は専任教員が担当している専門分野Ⅱを、助産学科は、全体の平均値をグラフ化しています。

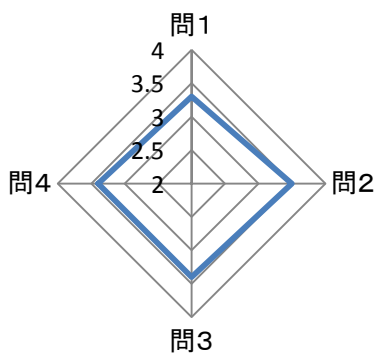
なお、通信制看護学科は平成29年度をもって閉課程となりました。

授業アンケート結果【平成29年度】

看護学科



助産学科



通信制看護学科

